



文責 本宮小校長 佐久間仁

薬

物乱用防止教室

(6年)



二本松市の内科・小児科医の佐久間秀人先生を講師にお迎えし、「おそろしいタバコとドラッグ」と題して、講話をいただきました。

◎佐久間先生の講話(概要)

- ・有害であると確認されている物質は二〇〇種類以上ある。
- ・発がん性物質は四〇種以上ある。
- ・**〈どんなドラッグがあるか〉**
- ・覚せい剤、大麻(マリファナ)、シンナー、トルエン、睡眠薬など。
- ・**〈ドラッグの種類(脳への働き)〉**
- ・アヘン(けし)、ヘロイン、モルヒネ、大麻、有機溶剤など**↓抑制**(ぼんやり、ほんわか)
- ・コカイン、覚せい剤、MDMA、ニコチン**↓興奮**(頭がさえてくる)

〈受動喫煙とは〉

・自分ではタバコを吸うつもりがないのに(吸っていないのに)、そばにいる人の副流煙(吸い込まれずに外に出て行く煙)を吸い込んでしまうこと。

〈タバコは毒の缶づめ〉

・タバコは毒のかたまり。いろんな病気になる。自分だけでなく、周りの人も病気にする。ものすごくお金がかかる。社会全体でみても「損」が大きい。

〈タバコを吸わないために〉

- ・いたずらでも、吸ったりしない。
- ・家族やお客さんの残した吸い殻に触らない。
- ・友達、好きな人から誘われた時「イヤ。」と言える勇気をもとう。

◎児童の感想

「タバコは発がん物質が多く含まれていて、依存性(やめられなくなる)があることがわかった。」
「副流煙は周囲にも害があるところだったので、煙を吸い込まないよいうに気を付けて生活したい。」



タバコはダメ

※教えていただいたことを生かして健康な毎日を過ごしてほしいです。

ふ

くしまジュニア チャレンジ入賞



第五回くしまジュニアチャレンジ(小中学生まちづくり大賞)【アイディア部門】において、五年生の三瓶虹心(にこ)さんが、見事「銀賞」を受賞しました。

虹心さんは小一の時、令和元年東日本台風による水害で被災した経験から、水害に強い町づくりについて考えたことをまとめました。

◎虹心さんの考え(アイディア)

〈町を災害から守るために〉
・町の人に水害の怖さを知ってほしい。そのために私はポスターを作って呼びかけたい。

〈どのように思いついたか〉

・東日本台風と本宮市の水害について調べた。調べて分かったことを写真やグラフを使ってまとめた。自分には堤防は作れないけど、ポスターを作って呼びかければ、町の人が対策を考えてくれるのではと思った。

〈どのように取り組むか〉

・自作のポスターを作りたい。「避難ガイド」や「避難の際の持ち出し品」などの情報を入れたい。このポスターを見て、町の人意識が高まって、水害に対する備えが進んだらうれしい。

◎虹心さんの感想

「受賞の知らせを聞いたときは、すごうれしかった。今度は考え(アイディア)をもとに、実際の活動(ポスターづくりなど)にも取り組んでみたい。」



おめでとう!

※表彰式は二月十七日(土)民報ビルにおいて行われる予定です。

入賞おめでとう!

第三七回福島県小学校児童画展

【入賞】五年 薄 蒼空

「こびこの町」

※終業式の日に表彰する予定です。

年末年始の交通事故防止県民総ぐるみ運動

毎朝、地域の皆様が登校を見守ってくださいています。特に凍結時や夜間の事故防止にご留意ください。



安全な毎日を